

がいせいしゃ  
偕成社ほんとう  
本当にあった話

916

No.075

# 子ぎつねヘレンがのこしたもの

## こぎつねへれんがのこしたもの

たけ たづみのる  
著 竹田津実 絵 岩本久則

■ ヘレンは、ヘレンケラーと同じような障害をもっているからヘレンと名付けられ、人間はいろいろな考えをして、いっしょにけんめいヘレンのせわをしていたけれども、最後には発作でヘレンが死んでしまったのが、悲しかったです。……………(小5)

めみみみみきこじゅういたけたづせんせいほ  
ごめみみみみきこじゅういたけたづせんせいほ  
目が見えず、耳も聞こえないないキタキツネの子ヘレンが獣医の竹田津先生に保護されるお話。生命について考えさせられる感動のノンフィクション。

ごうだんしゃ  
講談社ほんとう  
本当にあった話

916

No.076

# 五体不満足

## ごたいふまんぞく

あとたけひろただ  
著 乙武洋匡 絵 武田美穂

■ 障害者乙武さんの生き方がよくわかる本でした。手足がないのに色々な事に取り組んでいるのがすごいと思いました。この本を読んで、「福祉」などの言葉を知りました。また、障害者が困っていたら助けてあげたいと思いました。……………(小5)

「障害は不便です。だけど、不幸ではありません。」と言い切れる生き方に触れてください。



「西遊記 上 悟空誕生の巻」

かいせいしゃ  
偕成社

がいこく ものがたり  
外国の物語(ファンタジー)

923

No.077

# 西遊記

さいゆうき

わたなべせんしゅう  
編訳 渡辺仙州 絵 佐竹美保

わたしは、この本の登場人物、孫悟空が好きです。悟空は、おこりっぽくて、ちょっと自分が分かってなところもあるけど、強いしかっこいいからです。あと、この本の内ようもおもしろいから好きです。

孫悟空やさごじょう、ちょはっかい、さんぞうほうしが旅を続けると、次にどんな敵がでてくるか楽しみで、読んでいるとすぐ一冊が終わってしまう本です。

ほかりろんしゃ よかひと  
他に理論社のものを読んで書いた人もいました。



「三国志 1 英傑雄飛の巻」

かいせいしゃ  
偕成社

がいこく ものがたり れきし  
外国の物語(歴史)

923

No.078

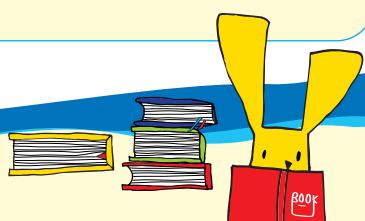
# 三国志

さんごくし

わたなべせんしゅう  
編訳 渡辺仙州 絵 佐竹美保

ぼくは、三国志の人たちは、戦い合って、なにがおこったのだろうかとしりたくなりました。三国志の人たちはどんな人物だったのだろうか。この本はとてもおもしろいです。

ちゅうごく ごかんまつき さんごくじたい  
中国の後漢末期から三国時代にかけての戦記物語。劉備、関羽、張飛など大ぜいの登場人物一人一人に人気がありました。他にあすなろ書房、集英社などのものを読んで書いた人もいました。





# シャーロットのおくりもの

しゃーろっとのおくりもの

著 E・B・ホワイト 訳 さくまゆみこ

絵 ガース・ウィリアムズ

わたし す とう じょう じん ぶつ  
にん げん た あたま  
私の好きな登場人物は、やさしくて頭のいい、くものシャーロットです。シャーロットは、  
人間に食べられそうになったぶたのウィルバーを、人間をだましてたすけたところが、と  
ってもかっこよかったです。たくさんの赤ちゃんも、かわいかったです。 ..... (小5)

こ ゆう じゅう えが せ かい じゅう よ  
もの がたり い かんが  
子ぶたのウィルバーとくものシャーロットの友情を描いた、世界中で読まれている  
物語です。生きることについて考えさせられます。



# 十五少年漂流記

じゅうごしょうねんひょうりゅうき

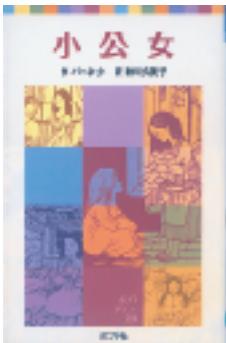
著 ジュール・ベルヌ 訳 那須辰造

絵 金斗鉢

たす ば めん ぼう けん ところ おお  
ほん だい す とう じょう じん ぶつ さい しょう ねん  
助けあったり、どきどきした場面や冒険する所が多いので、ぼくはこの本が好きです。  
この本の大好きな登場人物は、ブリアンという13才の少年です。ブリアンは、一番心や  
さしい少年なので好きです。 ..... (小5)

しょう わん い  
少年たちだけで生きていることがすごいと思いました。 ..... (小4)

ほか しゅう えい しゃ  
他に集英社、ポプラ社のものを読んで書いた人もいました。

しゅ  
ポプラ社がい ごく もの がたり セイ ちゅう はなし  
外国の物語(成長する話)

933

# 小公主

しょうこうじょ

作 バーネット 訳 秋川久美子

ある日セアラはパンを買いに行くと、お店の前に自分より貧しそうな子がすわっているのに気付き、パンをわたす。私はここに感動した。それは自分もおなかがすいているのにパンをあげるだなんて、とてもやさしい子だなと思ったからです。

(小6)

何があってもずっと笑顔でいて、しかも自分が食べる物がなくても自分より困っている人に食べ物をあげるセアラのやさしさが心に残った。

(小5)

ほか こう だん しゃ よ か ひと  
他に講談社のものを読んで書いた人もいました。

しゅう がく かん  
小学館がい ごく もの がたり  
外国の物語(ファンタジー)

933

# ダレン・シャンシリーズ

だれん・しゃんしりーず

作 ダレン・シャン 訳 橋本恵 絵 田口智子

主人公がとてもゆう氣があって、他人のことを思って自分の全てをなげたすぐらいやさしい心の持ち主で、その友達や仲間たちもとてもこせい的で、主人公のことを思っています。最後に主人公が目的をはたした時、とてもホッとしたしました。

(小5)

ダレン・シャンのどんなことがあってもあきらめないところや、自分をぎせいにして助けるところが好きです。

(小6)

ダレン・シャンは12巻までと外伝があります。同じ作者の『デモナータ』(小学館)も人気があります。





# 注文の多い料理店

ちゅうもんのおいりょうりてん

作 宮沢賢治 絵 和田誠

はじめは、たくさんの中のメニューがあるお店かと思ったら、ねこがしんしにいろんな注文をしてたべようとするお話をだったので、ドキドキしていっきに読みました。ねこのこわい顔としんしのこわがっている顔がとても大きです。

料理店のほうがお客様に注文をしていて、最後にお客さんを食べようとしたところが心に残りました。お客様の顔がぐしゃぐしゃになって、その顔がいつまでたってもどちらにもどらなかつたのがおもしろかったです。

二人の紳士が見つけた西洋料理店は、お客様に注文を出すお店です。



# チョコレート工場の秘密

ちょこれーとこうじょうのひみつ

作 ロアルド・ダール 訳 柳瀬尚紀  
絵 ケンティン・ブレイク

この話は、いろんな登場人物がチョコレート工場をたんけんするお話を。わたしが一番好きな場面は、チョコレート室です。川も草もチョコレートでできています。主人公のチャーリーとぼうけんしているみたいで楽しいです。

チャーリー・バケツは、貧乏なんだけど明るくてお年寄りを元気付けたりしてすごくいい子だと思いました。あと誕生日にチョコレートをもらって、それを見るだけでがまんしたり、ちょっとずつ食べたりするところが心に残りました。

チャーリーの住む町にあるワンカのチョコレート工場は、謎がいっぱいです。